

豊橋南部土地改良区

○地域の魅力

この土地改良区の地域は、愛知県の東南部に位置し、豊橋市の市街地南部に位置している、温暖な気候と地理的条件に恵まれた地帯である。

本地区は、東から西、南から北へと起伏の多い丘陵地で、低地に水田、中高地に普通畑が広がっている。地区東部から西の三河湾に2級河川梅田川が流れており、地質は第4期古層に由来する沖積層で、土壌は砂土壌で形成されている。

○組織概要

受益面積	約 1,478.3ha (田 685.0ha、畑 793.3ha)
受益地	豊橋市 杉山町、老津町、植田町、野依町、大崎地区、高師地区、磯辺地区、福岡東部地区
組合員数	2,802人
総代数	54人
役員数	理事 18 名、監事 4 名
設立	昭和42年9月14日
職員数	2人

○取り組み

当土地改良区は、44機場の揚水機場管理を行っております。その機場を通して、農地へ安定して豊川用水を供給するため、定期的な点検、整備、更に単県事業による施設の更新事業を行っております。

この様な土地改良区の活動は、組合員の方々に、「豊橋南部土地改良区だより」にてお伝えさせていただいております。

また、今後の取り組みとして、揚水機場管理をICT（運転状況閲覧システム）を導入し、統一した管理を行うことを目指しています。

そして、毎年春には水田への用水供給を行うために、水路浚渫作業を地域の方々とのおふれあいを通して行っています。

当土地改良区は、地域の方々と一緒に農地を豊かなものにしていくことを目指しています。